



双相一郡人物歴訪記

久之濱町

久之濱小学校長 木田茂平氏

氏は警中第十二回の出身にして後本縣師範を卒業、縣教育界に身を投じ各地方の小學校を歴任して小學校長に當り、其の間に、教育事業に關する一切の修練を積んだ、

今や久之濱小学校長として多年の経験と修練を傾けて育英事業に一意専心奉仕して、有る。

廣野村

鈴木忠良氏

鈴木村長は資性温厚篤實の人にして村民の絶対信頼を得て村治のために献身努力しつゝある。

野村醫院

野村院長は元磐炭附屬病院に勤務してその靈腕を歌はれたる名國手である、

富岡町

早川清久氏

早川氏は濱三郡木炭同業の刷新改善のため努力し地

秋田醫院

秋田醫院 院長 秋田一氏

院長秋田一氏は卓越秀技なる技術の所有者にして斯界に斷然重きをなす一般の氣受もよく民衆の態度を以つて患者に接しつゝある

長塚村

朝田司一氏

朝田村長は實厚の長者にして只管村政改善のため日夜努力し村民大衆の絶対信頼を受けて信望旺盛である

須藤清藏氏

土木監督所長 須藤清藏氏は厳正謹直の士である氏は職務に對して忠實にして管下土木監督に對して嚴格適正であつて幾多の業績をのこしてゐる。部下所員一同も所長を絶対支持して協力一致しつゝある。

蛭田恭三氏

蛭田局長は明快なる頭腦と牙えた手腕の持ち主にして繁雜多忙なる郵便事務に精通した快腕の事務家である

新山町

宮本捨吉氏

宮本町長は一意専念町治第二の國民造就のために一身を献じつゝある。

浪江町

桑島町長

桑島町長は老練の士として令名高く縣議對本氏の令兄である浪江町建設のため老練を掲げて健闘して

浪江通運株式會社

浪江通運株式會社 社長 浪江通運株式會社は業礎堅實にして信用絶大社員協力業務の發展を企圖しつゝある。

田中清太郎氏

田中氏は双葉郡切つての鋭の新人にして時代の新空氣を満喫した人である理想村請戸建設のため努力しつゝある。

浪江町 郵便局長

根本貞治氏

根本校長は温厚篤實の君子にして又修練積んだ老練の教育家として令名がある。赤心熱情を傾け盡して創建のために日夜肝膽を砕いて奉公しつゝある。

郡豊太郎氏

郡氏は本郡一流の實業にして又前縣議として赫々たる業績を縣治の上に印し

大場次郎氏

大場氏は警中出身秀才にして當町の新人印刷業を業として文化事業の最尖端を行

浪江通運株式會社 社長 浪江通運株式會社は業礎堅實にして信用絶大社員協力業務の發展を企圖しつゝある。

浪江町 郵便局長

幾世橋村 志賀一郎氏

志賀村長は徳望の人にして全村民より尊敬せられ又老練なる事務家として令名がある。住みよき幾世橋の動向に深き理解を有する人である

馬場房時氏

馬場氏は警中出身秀才にして當町の新人印刷業を業として文化事業の最尖端を行

小高町

大曲榮隆氏

大曲町長は元町長の榮隆にあつたが此度再選せられ泉田家は地方の舊豪家にたが町民よりの信望は町にして祖先以來現在に至るまで長再任の一事を以つて明國村民の絶対信頼を受け殊である

浪江町 郵便局長

前川三省氏

前川校長は「明明快活」兒童の父として親しみと温かみとを感ずる教育家である。校内外よりの絶対信任を博して一路教育軍國の丹を披瀝してゐる。

遠藤角彌氏

遠藤町長は地方自治に卓抜なる行政手腕を有し名町長として令名あり。町民の信用も絶對である。門馬助は温厚の人にして老練の事務家である町長を補佐して圓滿に町治の發展に協力してゐる。

佐藤弘毅氏

佐藤校長は地方農墾事業に献身する有名なる教育家にして又東都に進出して相馬野馬追を天下に紹介宣傳したる業績顯著である意氣天を衝く勇壯の心氣の村主である。

岩崎清氏

岩崎局長は人格徳望秀でたる人として尊敬せられ又練達の事務家として局内外の信任が厚い。

材木商業組合

暑中御伺

研究會會員一同

矢内半藏

川前村郵便局長 矢内半藏

菊地壽七

川前村 菊地壽七

柳井義一

鈴木醫院

鈴木正男

木田茂平

釜屋

鈴木龜太郎

高久村 鈴木龜太郎

酒井象治

夏井村 酒井象治

湯本藝妓屋

湯本旅館組合

横山太一

大平陸四郎

富谷三郎

矢内半藏氏

川前村 矢内半藏氏

松本酒造店

原町 松本酒造店

松崎印刷所

愛原活版所

小松章

渡邊醫院

鈴木重門